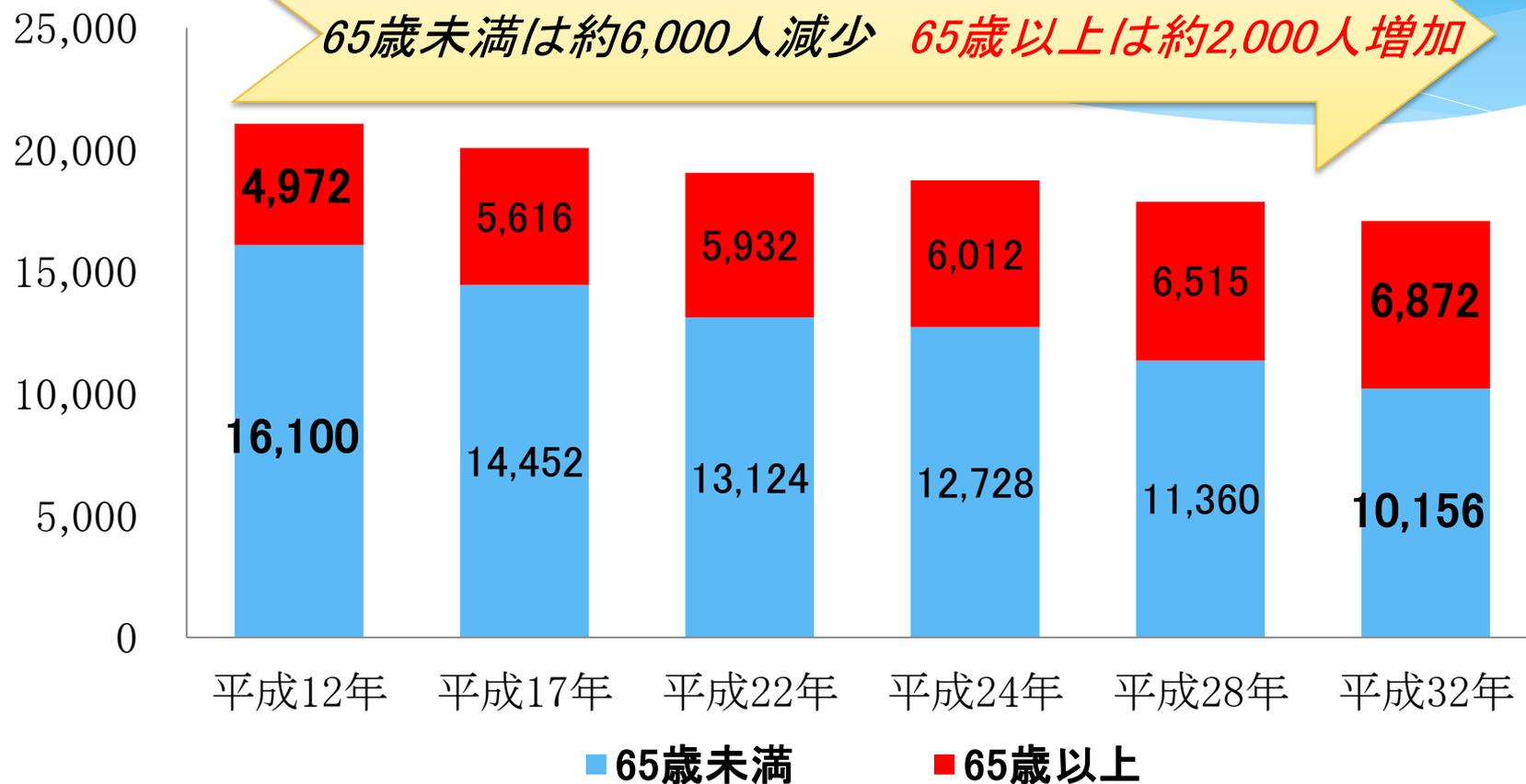


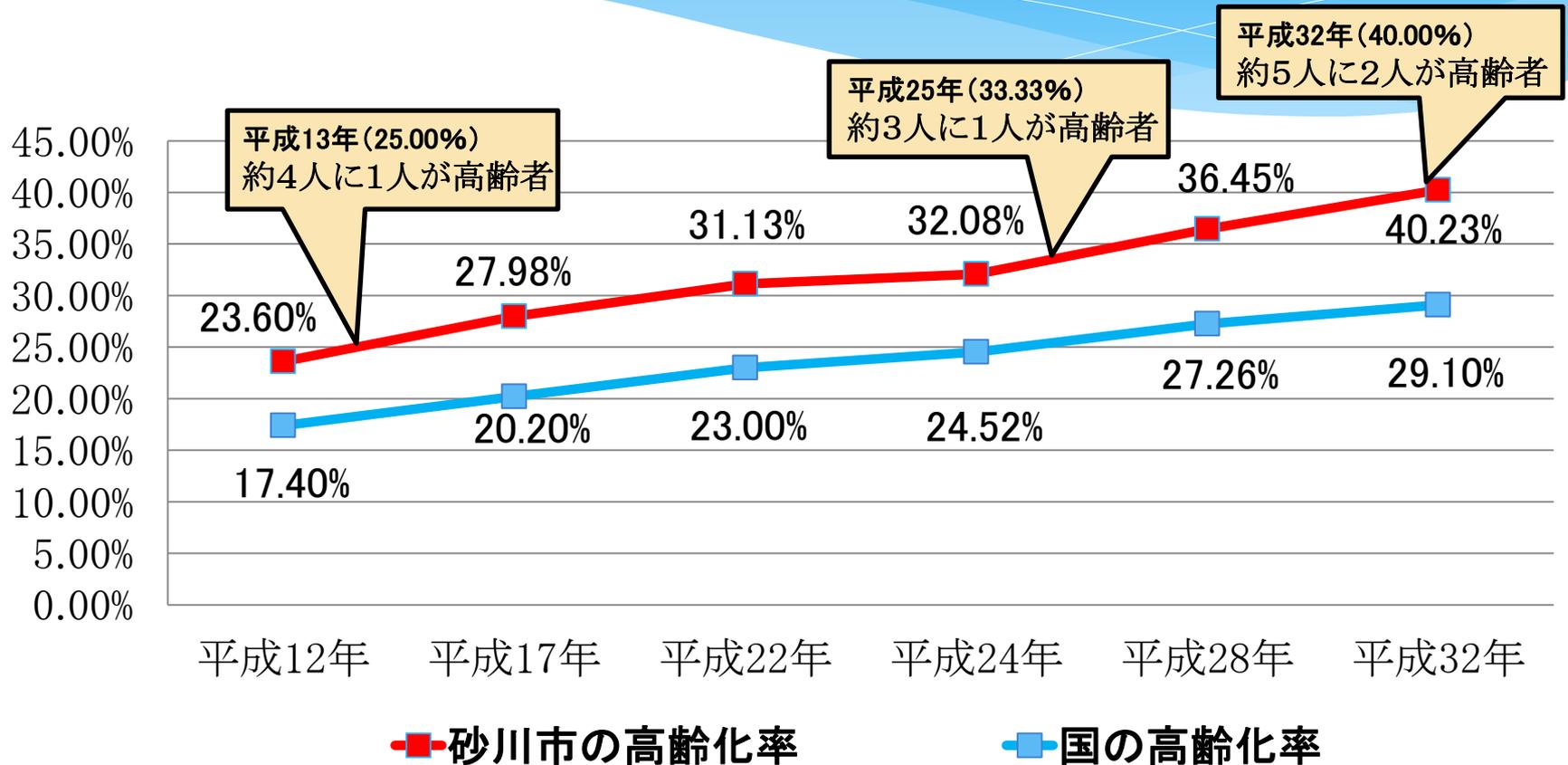
# 地域で高齢者を 見守る・支えるしくみ

砂川市 介護福祉課

# 65歳以上の高齢者の人口



# 65歳以上の高齢化率



# 市、関係機関と連携急ぐ

## 高齢者孤独死 砂川で相次ぐ

【砂川】市内で、月末、1人暮らしの高齢者の孤独死が相次いで見つかった。独居の高齢者世帯は市内でも増えており、市は町内会や福祉団体との連携を深めるなどして対策を急ぐ構えだ。

(石田礼)

28日には、自宅の前で雪に埋もれていた無職の女性(88)を、砂川警員が発見。29日には、自宅の玄関で無職の女性(96)が倒れているのを、ヘル

パーから通報を受けた同警員が見つけた。同居によると、2人は1人暮らしで死後数日が経過。いずれも病気が原因で死亡したと見られる。市によると、人口1万9千9百人、9千世帯のうち、65歳以上の上の1人暮らしの高齢者は約1300世帯。全世帯の14%が倒れているのを、ヘルを占める。

## 新年度 先進地の視察も

市は新年度、高齢者の安否確認などの仕組み作りで参考とするため、国内先進地への視察などを行う予定。介護福祉課は「孤独死を防止するため、安否確認に向け、町内会や電気ガス会社などと連携し、異常があれば市に情報が寄せられる仕組み作りを急ぎたい」としている。

# 福祉の網すり抜け

札幌市白石区のマンションで姉妹とみられる女性2人が「孤独死」した問題、姉(44)は知的障害のある妹(40)と暮らしていたにもかかわらず、福祉の支援を受けず、生活が困窮していった実態が浮かび上がった。姉妹は地域とのつながりがなく、生活保護を受けていなかったため、行政や地域は窮状を把握できなかったとみられる。道内では今月、釧路市でも高齢者夫婦が孤独死しているのが見つかった。福祉施策が施設から在宅へ移行する中、専門家は「弱者を孤立させない仕組みが必要だ」と指摘している。

窮状をこう推測した。同居などによると、姉妹は2007年7月から同居を始めた。妹は認知症の知的障害者施設に通いながら1人暮らしをしていたが、体調を崩し、姉と暮らすの計3回、白石区役所に生

生活保護受給世帯は市のケースワーカーが定期訪問しており、担当者は「申請さえしてくれれば」と話す。昨年11月末には、料金滞りなどでガスの供給が止められ、暖房器具が使えなくな後、今年に入って電気も止められた。北電によると、生活困窮者には3、4カ月程度支払いを猶予し、その上で電気止められている。通常の手続きに沿

## 生活保護 相談のみ 介護認定 更新なし

すことに、姉は札幌の商業施設で働いていたが、妹を1人にするのが難しいことから仕事をやめ、月約7万円の仕事を手伝っていた。札幌市の障害者年金と短期のアルバイトで生計を立てていたという。同居の際、姉から相談を受けた札幌の障害者施設の支援員は、グループホームへの入所を再勧めた。しかし、姉は札幌の商業施設で働いていたが、妹を1人にするのが難しいことから仕事をやめ、月約7万円の仕事を手伝っていた。札幌市の障害者年金と短期のアルバイトで生計を立てていたという。同居の際、姉から相談を受けた札幌の障害者施設の支援員は、グループホームへの入所を再勧めた。しかし、姉は札幌の商業施設で働いていたが、妹を1人にするのが難しいことから仕事をやめ、月約7万円の仕事を手伝っていた。札幌市の障害者年金と短期のアルバイトで生計を立てていたという。同居の際、姉から相談を受けた札幌の障害者施設の支援員は、グループホームへの入所を再勧めた。しかし、姉は札幌の商業施設で働いていたが、妹を1人にするのが難しいことから仕事をやめ、月約7万円の仕事を手伝っていた。札幌市の障害者年金と短期のアルバイトで生計を立てていたという。同居の際、姉から相談を受けた札幌の障害者施設の支援員は、グループホームへの入所を再勧めた。しかし、姉は札幌の商業施設で働いていたが、妹を1人にするのが難しいことから仕事をやめ、月約7万円の仕事を手伝っていた。札幌市の障害者年金と短期のアルバイトで生計を立てていたという。同居の際、姉から相談を受けた札幌の障害者施設の支援員は、グループホームへの入所を再勧めた。しかし、姉は札幌の商業施設で働いていたが、妹を1人にするのが難しいことから仕事をやめ、月約7万円の仕事を手伝っていた。札幌市の障害者年金と短期のアルバイトで生計を立てていたという。同居の際、姉から相談を受けた札幌の障害者施設の支援員は、グループホームへの入所を再勧めた。しかし、姉は札幌の商業施設で働いていたが、妹を1人にするのが難しいことから仕事をやめ、月約7万円の仕事を手伝っていた。札幌市の障害者年金と短期のアルバイトで生計を立てていたという。同居の際、姉から相談を受けた札幌の障害者施設の支援員は、グループホームへの入所を再勧めた。しかし、姉は札幌の商業施設で働いていたが、妹を1人にするのが難しいことから仕事をやめ、月約7万円の仕事を手伝っていた。札幌市の障害者年金と短期のアルバイトで生計を立てていたという。同居の際、姉から相談を受けた札幌の障害者施設の支援員は、グループホームへの入所を再勧めた。しかし、姉は札幌の商業施設で働いていたが、妹を1人にするのが難しいことから仕事をやめ、月約7万円の仕事を手伝っていた。札幌市の障害者年金と短期のアルバイトで生計を立てていたという。同居の際、姉から相談を受けた札幌の障害者施設の支援員は、グループホームへの入所を再勧めた。しかし、姉は札幌の商業施設で働いていたが、妹を1人にするのが難しいことから仕事をやめ、月約7万円の仕事を手伝っていた。札幌市の障害者年金と短期のアルバイトで生計を立てていたという。同居の際、姉から相談を受けた札幌の障害者施設の支援員は、グループホームへの入所を再勧めた。しかし、姉は札幌の商業施設で働いていたが、妹を1人にするのが難しいことから仕事をやめ、月約7万円の仕事を手伝っていた。札幌市の障害者年金と短期のアルバイトで生計を立てていたという。同居の際、姉から相談を受けた札幌の障害者施設の支援員は、グループホームへの入所を再勧めた。しかし、姉は札幌の商業施設で働いていたが、妹を1人にするのが難しいことから仕事をやめ、月約7万円の仕事を手伝っていた。札幌市の障害者年金と短期のアルバイトで生計を立てていたという。同居の際、姉から相談を受けた札幌の障害者施設

## 札幌の姉妹、釧路の夫婦 「孤独死」



孤独死したとみられる姉妹が暮らしていた札幌市白石区のマンション

# 相次ぐ “孤独死”

平成24年1月24日 北海道新聞→

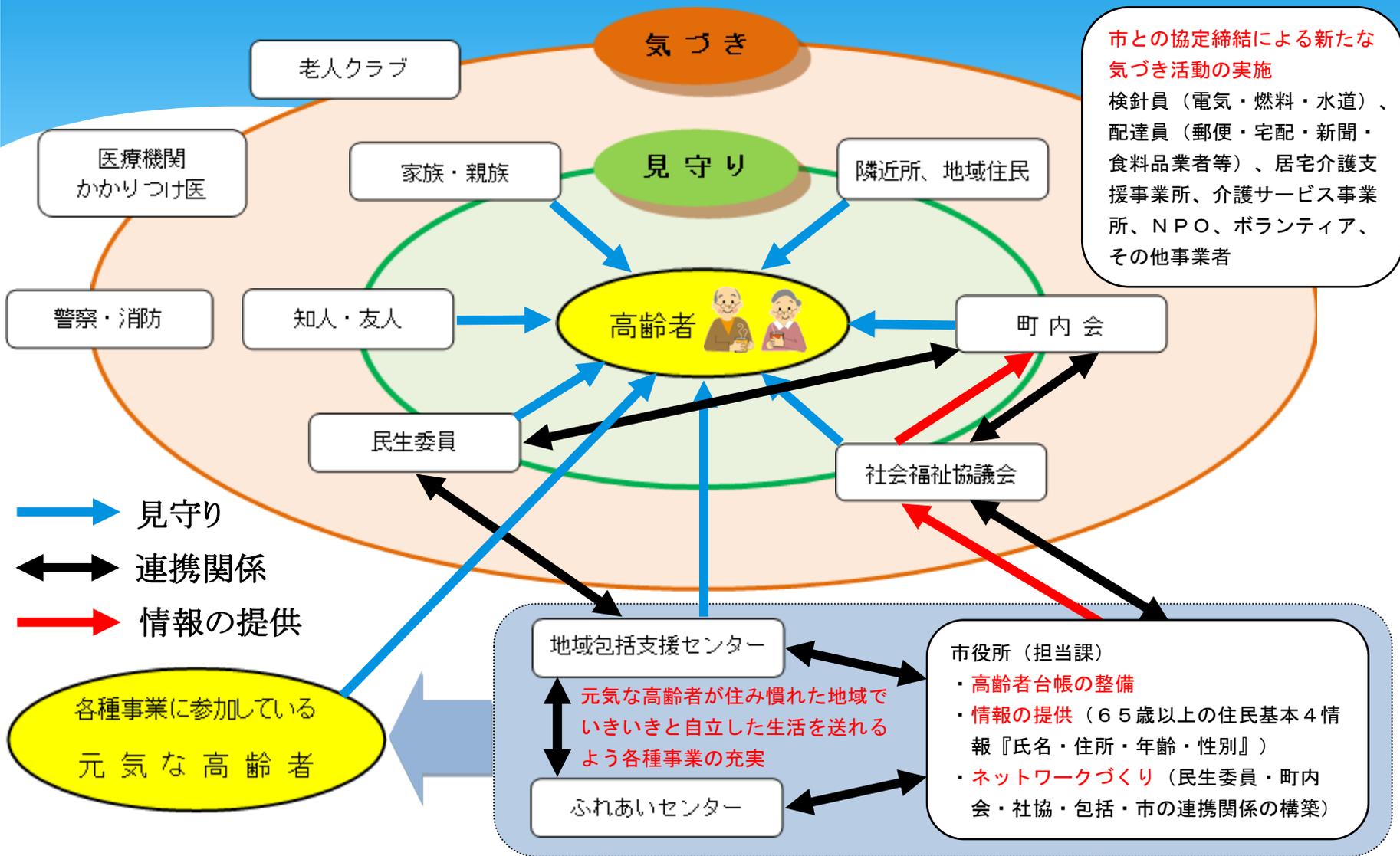
↓平成24年1月20日 北海道新聞

## 釧路・アパートの男女遺体 妻の病死後、夫凍死

【釧路】釧路市入江町のアパートの1室で12日、死亡しているのが見つかった男女2人は19日までに、釧路署の調べで、この部屋に住む無職の男性(84)と妻(72)と分かった。同居。司法解剖では、妻は特定できなかった。関係者によると、2人はこのアパートに数十年住んでいたが、町内会にも加入しておらず、近所の住民との付き合いはあまりなかったという。この地域の民生委員は現在、空席だ。生活保護は受けておらず、年金で暮らしていたとみられる。

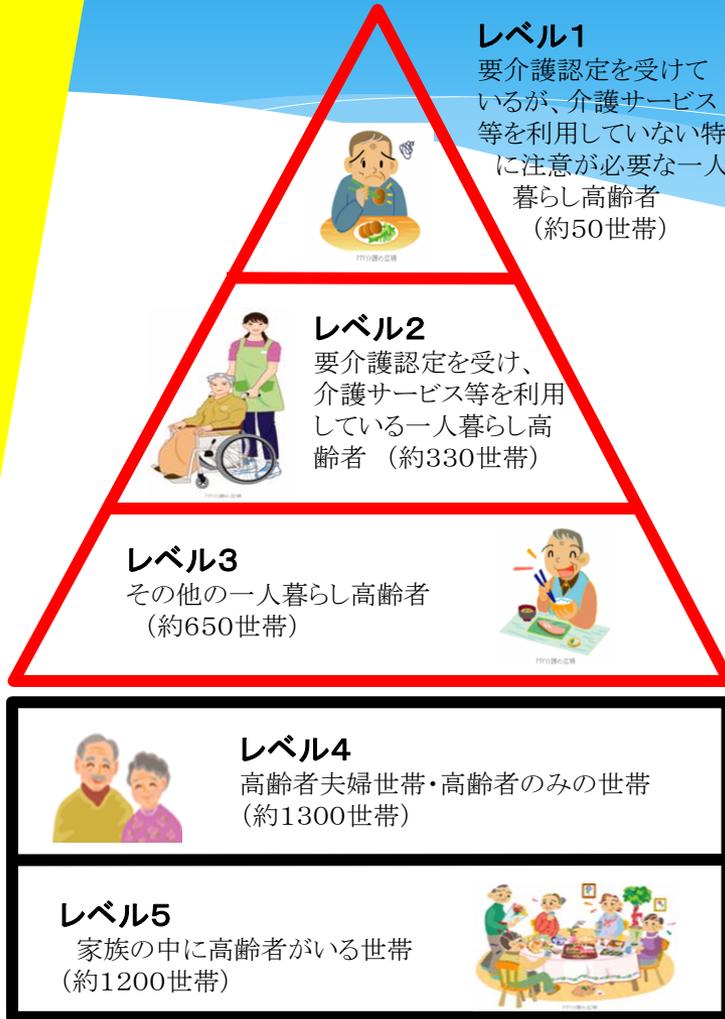
【釧路】釧路市入江町の司法解剖の結果、死亡後約40日、夫は約20日、経過していることが分かった。夫は認知症で、妻の死後、灯油ストーブの燃料が切れ、寒さで死亡したとみられる。妻の病名は特定できなかった。

# 見守る・支えるしくみ イメージ①



# 見守る・支えるしくみ イメージ②

高  
↑  
積極的な見守りの必要性  
↓  
低



**一人暮らし高齢者 (約1030世帯)**

**民生委員**

民生委員は町内会と連携し、見守りを行います



**町内会**

町内会は民生委員と連携し、日常の活動の中で見守りを行います

★つなぐ★

民生委員・町内会は日常のふれあいの中で、声かけや見守りを行います。高齢者の異変や気がかりな点などは、砂川市や地域包括支援センターに連絡します。

**その他の高齢者 (約2500世帯)**

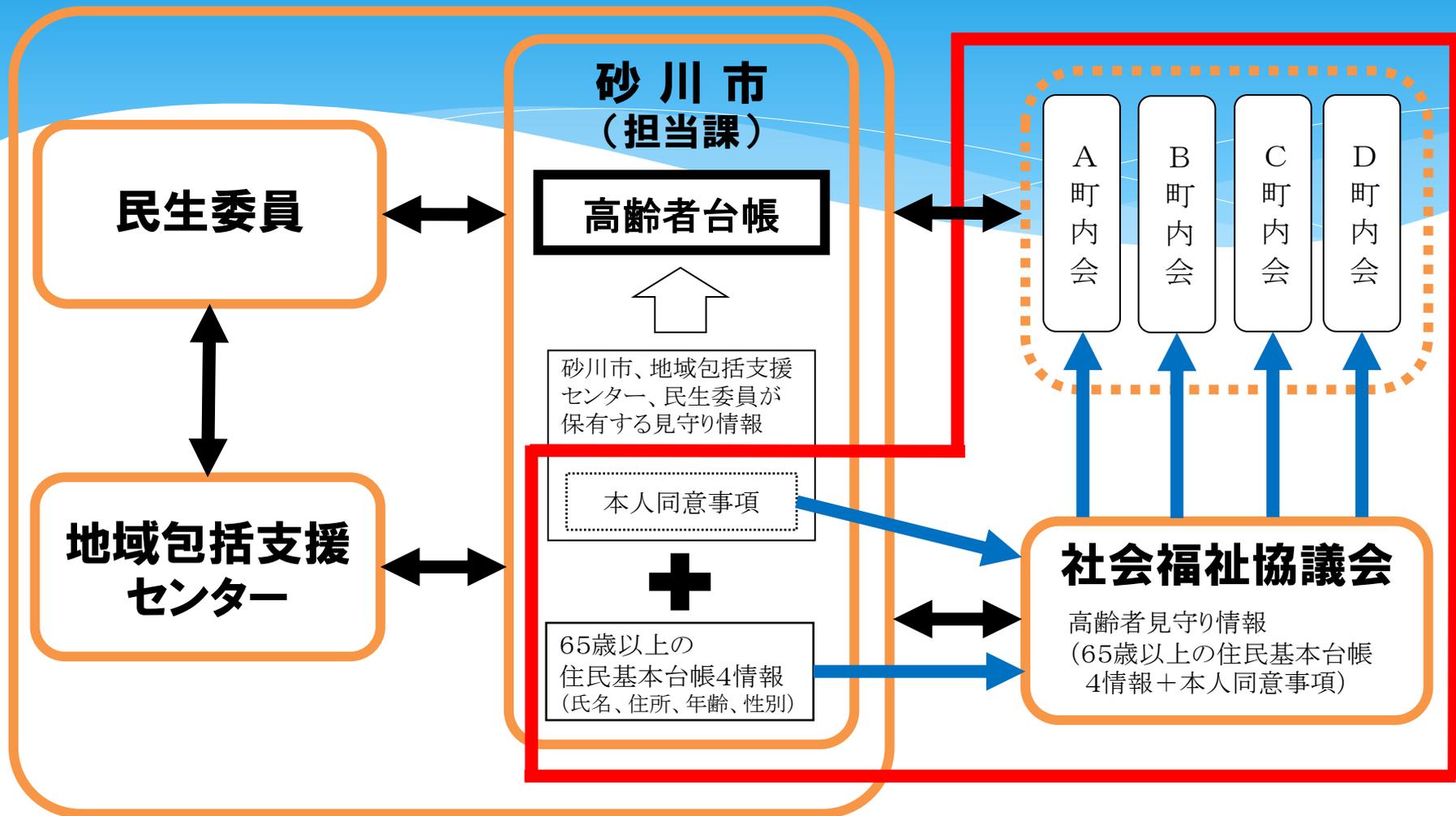
**町内会**



**民生委員**

**砂川市 (担当課) 包括支援センター**

# 情報の提供と連携 イメージ



⇔ 連携関係

➡ 情報の提供

📦 提案予定である  
条例の範囲

# “見守り” と “見まわり”



# 町内会・民生委員・市・包括・社協との連携

→1人にかかる負担が軽減されます

→効率的・効果的な見守り活動が展開できます

